

社会 問題

※ 選択問題は、記号で答えること。

1. 次の会話文を読み、問に答えなさい。

梨花：今日、授業中に教室にハチが入ってきて、大さわぎになったの。こわかったわ！
 そうしたら先生が、最近日本でミツバチが不足していて、農家が大変だ、という話をしてくださったの。

母：ハチはハチミツを集めるだけでなく、果物や野菜の受粉に使われているからね。
 ()省が調査したら、A全国の20をこえる都県でミツバチが不足していたそうよ。不足の原因は、はっきりしてはいないけれど、農薬などいろいろ考えられているらしいわ。農家を買うハチの値段が二倍になった所もあるとか。

梨花：ハチが買えなかった農家ははどうするの？ 一つひとつ手作業で受粉をするの？
 野菜や果物の値段が高くなりそうね。私の好きなイチゴもメロンもBゴーヤもミツバチが受粉しているわ。

母：農産物の生産費が上がったとして、その分だけ高くした値段で売ることが可能ならね。でもCスーパーマーケットで売られているモノの値段はあらかじめ決まっている気がしない？

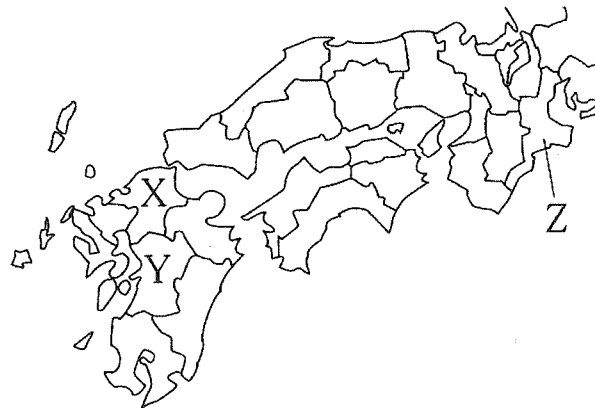
梨花：そういえば、広告には3日後の魚や野菜の値段が目玉商品として出ているわね。

母：チェーンストアのスーパーで買い物をすると、レジで商品についたバーコードを読み取っているでしょう。そのたびに、どんな商品がいくらで売れたかという情報が記録されていくの。だからスーパーは「いつ、どの商品が、いくらで、どれだけ売れるか」が正確にわかっているのよね。その情報にもとづいてスーパーは必要な商品を、必要な分量だけ、指示した時間に納品するように、食品メーカーに注文を出しているのよ。

梨花：そのシステムだと、スーパー側はむだが省けていいかもね。でも食品メーカー側には()というマイナス面があるわね。効率が優先の発想では、だれかにしわ寄せがいくということなのね。ミツバチだってそのぎせい者なのかもしれないわね。

問1 文章中の()にあてはまる省の名を答えなさい。

問2 下線部Aについて、地図上X～Zの県でもミツバチの不足が確認されました。X～Zの県庁所在地名を答えなさい。



問3 問2の地図上X～Zの県について説明した次の文章を読み、(①)～(④)に適する語を下からそれぞれ選びなさい。

Xの県は、(①)があり鉄鋼業などの工業に特ちょうがあるが、最近では農産物の輸出にも力を入れている。イチゴも輸出されているが、イチゴの受粉にはミツバチが欠かせない。

Yの県では、かつて四大公害の一つである(②)が発生した。汚染された海の水が安全になるまでには、長い年月がかかり、一度環境が汚染されてしまうと、回復させるのが難しいことを多くの人が学んだ。

Zの県の一部は(③)にふくまれており、臨海部には(④)発電所がある。(④)発電所は二酸化炭素を多く排出するため、温暖化の原因の一つとされている。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| ア. 東海工業地域 | イ. 京浜工業地帯 | ウ. 北九州工業地帯 |
| エ. 阪神工業地帯 | オ. 中京工業地帯 | カ. 鹿島臨海工業地域 |
| キ. 四日市ぜんそく | ク. イタイイタイ病 | ケ. 第二水俣病 |
| コ. 水俣病 | サ. 水力 | シ. 原子力 |
| | ス. 地熱 | セ. 火力 |

問4 下線部Bについて、ゴーヤは「緑のカーテン」に使われることが多い植物です。「緑のカーテン」は、植物のつるをネットなどにはわせて育てるもので、室内の温度を下げる効果があります。「緑のカーテン」に向かないものを次から1つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|----------|----------|---------|
| ア. へちま | イ. ひょうたん | ウ. らっかせい | エ. あさがお |
|--------|----------|----------|---------|

問5 下線部Cについて、次のうち、チェーンストアのスーパーマーケットで売ることがもっとも難しいものを選びなさい。

- | |
|---|
| ア. 近くの漁港でとれたアジにまざっていた、一般には名の知られていない魚 |
| イ. 長さや太さと色が均一で、虫食いもなく、曲がっていないキュウリ |
| ウ. ふくろに生産者の顔写真がはってあったり、使用した農薬が調べられるようになっていたりするほうれん草 |
| エ. 一人ぐらしの人のために、特別に少量パックづめした野菜 |

問6 文章中の()に入る文を15字程度で考え、答えなさい。

2. 次の文章を読み、問に答えなさい。

長崎県にある対馬は、朝鮮半島にとっても近い島です。対馬と朝鮮半島のかかわりは縄文・弥生時代のころにさかのぼることができます。

4～5世紀になると、大陸から日本へ移住してきた（ 1 ）がさまざまな新しい技術を伝えました。その後、遣隋使や①遣唐使も必ず対馬を通っていきました。

しかし朝鮮半島との関係はいつも友好的なものであったわけではありません。663年に日本は百済を助けるための新羅・唐との戦いに大敗しました。この（ 2 ）の戦いのち、新羅・唐の攻げきに備えた城が対馬にもおかれしました。

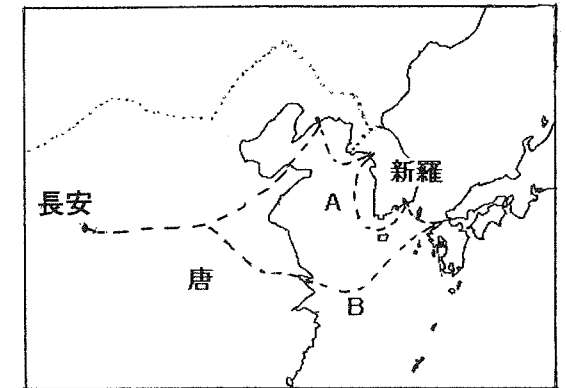
平安時代末期に（ 3 ）がおこなった日宋貿易では、宋からの船が対馬にしばしば寄港しました。しかしこのころから対馬と大陸との関係は変化をむかえます。二度にわたる②元寇です。文永の役において、対馬の宗氏の軍勢は全めつしたといわれています。また弘安の役の時も九州本土への上陸はなかったものの、対馬での戦いはありました。しかし元寇の時期を除くと日本と元の交易は活発におこなわれたので、対馬は中継港としてさかえました。

14世紀半ばになると、朝鮮半島や中国沿岸を行き交う船などをおそう倭寇の活動が激しくなります。倭寇をとりしめるために、室町幕府は明や朝鮮と正式な貿易をおこないました。明との正式な貿易を③勘合貿易といいます。これによって対馬は再び貿易の中心地となっていきました。しかし日朝関係は、（ 4 ）の朝鮮出兵により悪化しました。対馬は朝鮮との貿易による利益がえられなくなったため、江戸時代になると積極的に朝鮮との関係改善をおこないました。こうして対馬は朝鮮との④貿易の窓口となったのです。また、対馬を通じて⑤朝鮮通信使という使節が送られてきました。

しかし明治以降、対馬は日本が朝鮮を植民地化するための足がかりとなっていきました。1894年には清との戦争を準備して、日本は朝鮮に出兵しました。日清戦争のち、日本海軍が軍かんを通すために対馬の一部をけずり、ロシアとの戦争の準備をしました。こうして⑥日露戦争の時の日本海海戦は対馬沖で戦われました。日本は日露戦争の講和条約によって朝鮮への支配を強め、1910年の（ 5 ）によって朝鮮を植民地としたのです。こののち、対馬は東アジアにおける日本の窓口としての地位を失っていましたが、現在、韓国に近い島として日韓友好の橋渡しの役目を果たしています。

問1 （ 1 ）～（ 5 ）にあてはまる人名や語を答えなさい。

問2 下線部①について、奈良時代に遣唐使の行路は、右の地図のAからBに変わりました。その理由を説明しなさい。



問3 下線部②について、この結果、日本国内では借金のために御家人の生活が苦しくなっていました。御家人を助けるために、一度売った土地を取り戻せるようにした法律を何といいますか。

問4 下線部③について、勘合貿易で日本から多く輸出されたものは何ですか。それは日本がもっとも多く輸入したものの原料ともなるものでした。

問5 下線部④について、江戸時代に日本が海外と交流したとされる場所は「4つの口」といわれますが、対馬以外の3カ所の組み合わせとして正しいものを、次から1つ選びなさい。

- | | |
|-----------------|-------------|
| ア. 長崎、琉球（薩摩）、博多 | イ. 松前、平戸、長崎 |
| ウ. 長崎、琉球（薩摩）、松前 | エ. 松前、平戸、堺 |

問6 下線部⑤について、朝鮮通信使の説明として正しいものを、次から1つ選びなさい。

- ア. 天皇がかわると、朝鮮王家から京都にきた使節のこと。
 イ. 将軍がかわると、朝鮮王家から江戸にきた使節のこと。
 ウ. 朝鮮の王がかわると、天皇にあいさつにきた使節のこと。
 エ. 朝鮮の王がかわると、将軍にあいさつにきた使節のこと。

問7 下線部⑥について、日露戦争よりあとにおきたできごとを、次から1つ選びなさい。

- ア. 護憲運動 イ. 三国干渉 ウ. 日英同盟 エ. 大日本帝国憲法発布

問8 対馬の城下町には、江戸時代に下の写真のようなかべが、あちらこちらにつくられました。これは「火きり石」とよばれるものです。このかべはどのような役目をはたしたもののなかを考えて説明しなさい。



3. 次の文章を読み、問に答えなさい。

昨年から国民が刑事裁判に参加する（ 1 ）制度が始まり、ニュースなどでも大きく取り上げられています。このほかにも私たち国民が政治に参加する機会は多くありますが、なかでも選挙はそのもっとも大きな機会といえます。

選挙には、衆議院や参議院の議員を選出する国の政治にかかわる選挙と、都道府県や市町村議会の議員や首長を選出する地方の政治にかかわる選挙があります。昨年8月には、衆議院の（ 2 ）にともなって総選挙がおこなわれましたが、その選挙での投票率は、約69%でした。投票率を上げるために①選挙当日に投票に行けない人が事前に投票する制度が導入されていますが、思うように投票率は上昇していません。また、地方の政治にかかわる選挙は、より深刻な状況で、たとえば、昨年7月におこなわれた東京都議会の選挙の投票率は約54%でした。

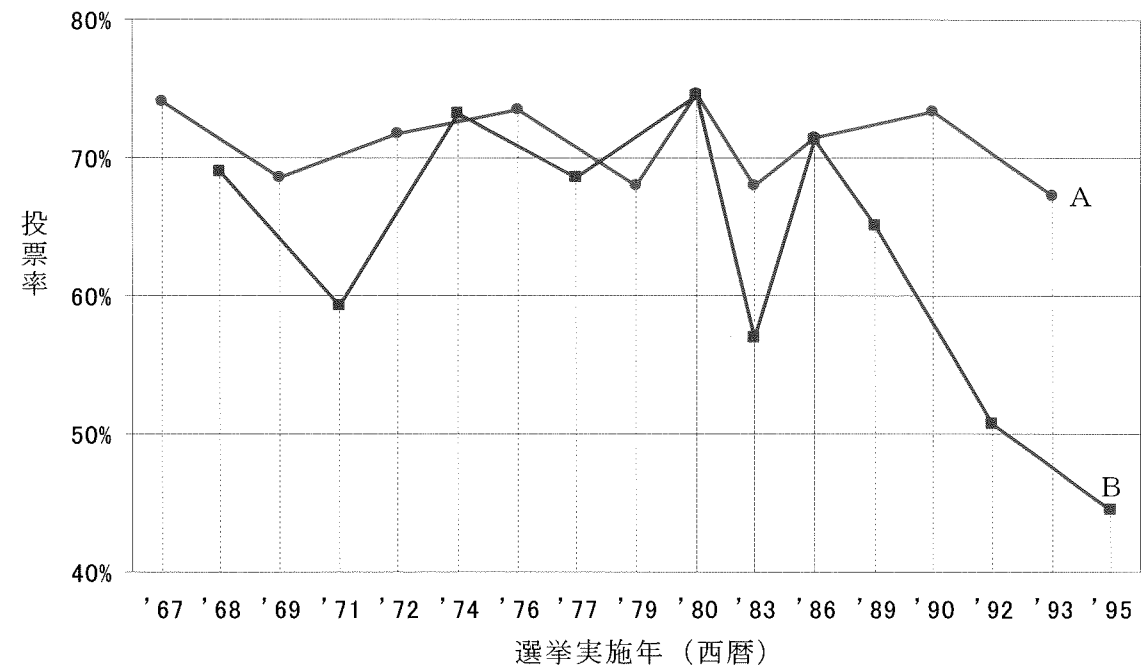
こうした状況を考えると、有権者は地方よりも国の政治への関心の方が高いといえますが、小・中学校や保健所、上下水道やごみ処理、消防など、私たちの生活により身近なのは都道府県や市町村の政治です。つまり、地方の政治も国の政治と同じように大切なのです。そこで、②これまで国がもっていた多くの権限を地方にゆずるという考え方が進められています。その上で、私たちの生活がより良いものとなっていくためには、住んでいる人たちがその地方を治めていくこと、つまり（ 3 ）を充実させていくことが何よりも重要です。

問1 （ 1 ）～（ 3 ）にあてはまる語を入れなさい。

問2 下線部①について、この制度のことを何といいますか。

問3 下線部②について、このことを何といいますか。漢字4字で答えなさい。

問4 次のA・Bのグラフは、1967年から1995年までに実施された衆議院および参議院選挙の投票率です。Aのグラフが衆議院選挙の投票率を示していますが、それはどのようなことからわかりますか。



以上